

広報誌をご覧くださいありがとうございます。
この広報誌では社内の取り組みや事例などを紹介いたします。
今回は新年式典の様子をお伝えいたします。



手稲神社によるお祓いと交通安全祈願

1月4日、ティーアール・ネットサービスは仕事始めとなり新年交礼会が行われました。交礼会では最初に2階会議室で北海道警察協力のもと、冬道運転の注意点など安全運転・安全意識による講話が行われました。続いて手稲神社の宮司さんをお招きし、1年間の無事故無違反の祈願とお祓いが行われました。また、参加した社員一人ひとりが玉串奉奠を行い、個人も安全を願いました。

事務所での祈願が終わった後は車庫に移動し、トラックと乗車するドライバーがそれぞれお祓いを受け、交礼会が終了となりました。



事故分析による事故の傾向

講話の中で話されていた事故が多い現場の傾向のおさらいします。

事故は追突と出会い頭の事後が最も多く、月別では12月と2月のいわゆる真冬の時期が多く、路面状況や視界の悪さが影響しているそう。事故は火曜日が一番多く、次に月曜日。時間帯は午前8時から午前10時が多いとのこと。「週の初めで考え事をしている人が多いのかも」と話していました。

「交通事故が起きるところには違反がある」として、左右や前方の安全不確認が多くみられると分析結果として出ているとのこと。安全確認が不十分なため追突や出会い頭の接触事故が起きやすくなるため、安全確認をしっかりとください。

また、「運転開始と終了前の5分前の事故」がとても多いと感じているそう。最後まで気を抜かず注意してください。



安全運転コラム

冬も本番になり道路脇には雪山が目立つようになってきています。視界が悪くなり曲がってくる車や歩行者の確認が遅れることも増えてくると思います。速度を落とし早めのブレーキを心がけることが重要です。また、路面凍結によるスリップ事故も多発しますので十分に車間距離を取り、急ブレーキを避けることも大切です。

ところで、みなさんは「安全運転5則」をご存じでしょうか。これは昭和55年に無謀運転による交通死亡事故防止を徹底するために定められたもので「安全速度を必ず守る」「カーブの手前でスピードを落とす」「交差点では必ず安全を確認する」「一時停止で横断歩行者の安全を守る」「飲酒運転は絶対にしない」の5つが定められています。どれも当たり前のことですので、天候や路面状況に合わせた運転をよろしくお願いいたします。

